

きくち文昭の
活動記録



自衛隊神町駐屯地前にて



村山特別支援学校山形校開校式会場にて



三重県津市で新大規模体育施設建設の状況を聞く



北前船フォーラムで日本観光振興協会 見並氏と



白鷹町 佐藤町長より国道287号の早期開通について要望を受ける

知ッとお情報1

山形県教育センターでは不登校・いじめ・進路等々についての相談を受け付けております。

教育相談ダイヤル **023-654-8181**

月～金(平日)は8時30分～20時30分まで
土・日・祝日は8時30分～17時30分まで

いじめ相談ダイヤル **023-654-8383**

24時間受付しております

保護者のみなさん お気軽に相談ください

知ッとお情報2

夜間(19時～22時)の急病の相談は…

小児救急電話相談窓口
県内のプッシュ回線および携帯電話からは
#8000
ダイヤル回線・PHSからは
023-633-0299
しょうじきゅうきゅう
●相談時間:午後7時から午後10時まで(3時間)
●対象者:県内に居住又は在住する15歳未満の子ども及びその家族 ●主な相談内容:子どもの発熱、嘔吐、下痢などの急な病気についての相談 等

大人の救急電話相談窓口
県内のプッシュ回線および携帯電話からは
#8500
ダイヤル回線・PHSからは
023-633-0799
おとなきゅうきゅう
●相談時間:午後7時から午後10時まで(3時間)
●対象者:県内に居住又は在住する大人及びその家族 ●主な相談内容:発熱、頭痛、腹痛、めまい、吐き気などの急な病気についての相談 等

知ッとお情報3

もし、あなたが悩みを抱えていたら…一人で悩むより、まず相談を。

相談窓口は

★自殺予防 いのちの電話 **023-645-4343** (相談受付時間 13時～22時)

★フリーダイヤル

0120-738-556 毎月10日はフリーダイヤルの日
24時間(8時～翌日8時)電話相談を受け付けています。

知ッとお情報4

やまがたママの安心ナビゲーション

山形県では妊娠中の女性や乳幼児を持つ家庭を対象に、妊産婦のからだ、こころ、育児に関する情報や利用できるサービス、制度を紹介するサービスを開設しています。

★URL:<http://mamanavi.pref.yamagata.jp/>
★お問合せ先:山形県子育て推進部子ども家庭課
〒990-8570 山形市松波二丁目8-1
電話:**023-630-2260**

知ッとお情報5

消費税転嫁に関する情報受付窓口

消費税の転嫁、広告、宣伝、総額表示及び便乗値上げに関するお問い合わせなど、事業者・消費者の方々からのご相談を受け付けております。

★消費税価格転嫁等総合相談センター
●電話番号(ナビダイヤル)**0570-200-123**(有料)
●受付時間:土日祝日を除く、9時から17時まで
●その他、電子メール(ホームページ用の専用フォーム)でも受け付けております(24時間受付)

知ッとお情報6

「振り込め詐欺」、「押し買い」に注意!

全国的に、振り込め詐欺事件や、自宅に不意に押しかけ、強引な交渉で貴金属などを相場より安く買い取られる「押し買い」が多発しています。

相談窓口は

★山形県警察本部 広報相談課 警察安全相談室

#9110または
023-642-9110

★山形警察署
023-627-0110

★各交番・駐在所

★山形県消費生活センター
023-624-0999
月～金(平日) 9時～17時まで

★消費者ホットライン(全国統一番号)
0570-064-370
土日祝日は国民生活センターにつながります。
相談受付時間は、10時～16時まで

知ッとお情報7

災害が発生した時、被災地の家族や親類、知人などの安否確認をする際に便利です。大規模な災害が発生し、被災地への通信が増加し、つながりにくい状況が起きた場合に提供されます。

番号は **171**

*加入電話、公衆電話、携帯電話、PHSなどから「171」をダイヤルし、音声ガイドに従ってメッセージを録音・再生する。被災者の電話番号を入力すると、登録されたメッセージを聞くことができます。

体験利用ができます!

・毎月1日、15日 0時～24時
・正月三が日(1日0時～3日24時)
・防災週間(8月30日9時～9月5日17時)
・防災とボランティア週間(1月15日9時～1月21日17時)

きくち文昭の県議会での
役職は次のとおりです

- 厚生環境常任委員会委員
- 子ども育成・若者支援対策特別委員会委員

県政についてご意見・ご質問等が
ございましたらお気軽にお寄せください

- TEL.023-641-7060
- FAX.023-641-7067
- E-mail:f-kikuchi@mqc.biglobe.ne.jp
- 自宅:〒990-0065 山形市双月町250-3
- 県議会:〒990-0023 山形市松波2-8-1 県議会本棟4階
TEL.023-630-3211(代) 内線4404
FAX.023-630-2833

平成26年7月 No.8

きくち文昭
県議会レポート

発行・編集 山形県議会議員 菊池文昭 〒990-0065 山形市双月町250-3
TEL.023-641-7060 FAX.023-641-7067 E-mail f-kikuchi@mqc.biglobe.ne.jp

避難者の不安をなくし支援の継続を!
米沢市内にて避難者と意見交換を行う

東日本大震災から3年経ちました。米沢市で避難者の交流や就労支援・子育て支援等を行っている「米沢市避難者支援センター」において「NPO法人おいたまサロン」「NPO法人きすな」を若松かねしげ参議院議員、甚野福島県議会議員らと共に訪問し、避難者支援の状況を視察するとともに懇談し、避難者の就労支援の状況について意見交換を行いました。

山形県内には未だ5,300名(福島県からは4,900名強)を超える避難者(5月訪問時点)がおります。国の集中復興期間が平成27年度で一つの区切りを迎えることから、自主避難者を含め、「みなし仮設住宅」の適用継続や帰宅の際の高速道路利用の無料化等施策の継続は厳しい課題があるものと予想されます。その様な中で、家族の状況の変化に伴う住宅の住み替えについては住民の視点に立った円滑な運用を求める声や、子ども被災者支援法への取り組みや現状について、また県民健康調査事業と被災者の心のケア支援事業の取り組み状況についての要望や避難者等へ情報支援事業の状況について質問と要望等が出されました。

特に心配されるのは、「みなし仮設住宅」の入居期間の問題であります。災害救助法で、応急仮設住宅の入居期間は2年で延長については1年を越えない範囲となっている状況から毎年延長を行っている現状です。また、3年の間では家族構成も変り、今の住居では対応が難しい状況も生じております。これまで米沢市在住の方より要望等も頂いており、今後それらの課題解決に力を注いでまいります。また今回の視察を通じ頂いた様々な要望についても福島県・復興庁とも連携をとりながらネットワーク力を生かして情報交換や住民の支援継続に取り組んで参ります。

山形県議会議員 きくち文昭



米沢市で福島からの避難者との意見交換を行う

県内外で調査・視察を行いました

県立朝日学園の児童・生徒に適切な環境の整備を!

県立朝日学園は児童自立支援施設として昭和28年に大江町に移転開設しました。様々な家庭環境や生活指導が必要な県内の児童・生徒が入所しています。昨年度より7名の教員で大江町立左沢小学校と中学校の藤田の丘分校として教育施設となり、10名が在籍(5月視察時点)しております(高校生1名を含む)。少人数での環境であり教育施設は昭和49年 蔵王寮、葉山寮は昭和42年建設で早期の改築が求められており適切な環境整備について今後取り組んで参ります。

県立朝日学園にて



北前船寄港地フォーラムを通し観光振興を!

秋田市土崎で開催された北前船寄港地フォーラムに参加しました。会場では観光庁の映像資料では全国の町おこしの報告中陽市赤湯温泉のワインと食(餅)の報告がありました。また県外から秋田の大学に在籍している学生の視点での地域の魅力発掘や過疎地域の活性化に取り組んでいる模様が報告され、視点を変えた地域資源を見直す大切さを考えさせられました。また女性の視点も大切で、女性力が今後大きな力になることを改めて感じました。

秋田市で開催の北前船フォーラムにて



国道287号白鷹町大瀬地内の早期開通を!

幅100m長さ150mの地滑りが本年3月末に発生が確認された国道287号(白鷹町大瀬地内)の状況を視察しました。この道路は長井市から白鷹町・朝日町・大江町を通り山形自動車道につながる物流・観光の

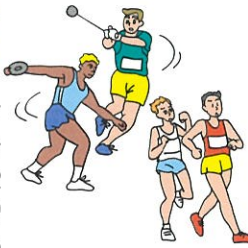


大事な路線であり、普通車は町道の一部交互通行で迂回しています。当日は若松参議院議員と同行し現状の視察と共に、白鷹町長より早期復旧の要望を受けるとともに、根本的な解決に向け今後取り組んで参ります。

国道287号地滑りでの通行止めの状況を視察

東京オリンピック開催での合宿会場等の招致加速を!

高知県庁内に「東京オリンピック・パラリンピック関連事業推進プロジェクトチーム」を設置し様々な情報収集と提案活動を本年2月からスタートしております。宿泊所や練習会場の誘致に積極的に取り組み、高知県の持つCLT(直交集成材)をアピールする「木の文化」「よさこい祭り」の取組等で陸上競技・水泳・シッティングバレー等の受入可能な提案を行っています。本県でのサッカー関連の宿泊と練習会場の取組についても加速させなければなりません。



高知県の東京オリンピック合宿招致活動を視察

管理栄養士を医療職として配置を!

昨年12月にNHK「おはよう日本」で取り上げられた高知市の社会医療法人近森病院を訪問。10年前からこの病院の管理栄養士数は全国平均3倍の22名です。特に高齢者は術後の点滴だけの栄養補給だけでは低栄養になるケースが患者の45%と多いことの経験から、早い段階で口から食事をとることが早期退院に結びついているとのこと。病院の管理栄養士は自ら聴診器をあて患者のお腹の状態を見て医師と相談しながら病棟の医療専門職として働いております。本県では本年4月より管理栄養士を育成する米沢栄養大学を設立し40名の学生が入学しました。この管理栄養士が近森病院のような取組が出来ればと思います。将来、管理栄養士が病棟で活躍する日を期待したいと思います。

高知県 近森病院院長と



国際観光の振興を図れ!

三重県で開催された「2013日台観光サミットin三重」の状況を視察。日本と台湾を代表する観光関係者が一堂に会して交互に行われるものです。三重県では震災直後、一時落ち込んだ観光者数も平成25年度は前年に比べ150%近くに増え2万7千人を超えサミットの効果が表れています。本県でも来年の誘致が(公)日本観光協会より発表になり観光交流を通し、海外誘客に大きな弾みがつくよう取り組むとともにWi-Fiの環境整備等に取り組んで参ります。



三重県の日本・台湾交流の状況を視察

これまでの各種委員会等での質問要旨です

くわしくは で検索できます

ベンチャー産業の市場拡大の推進を!

菊池 スパイバー社の合成クモ糸繊維について、今後の市場規模をどう見込んでいるのか。
科学技術政策主幹 応用できる分野が広範囲にわたるため、市場規模を想定するのは難しいが、スパイバー社によれば、量産化に成功すれば、数兆円といったレベルの経済効果を生むのではないかとのことである。県でも、合成クモ糸繊維がナイロン等の石油由来素材の代替として市場に流通した場合には、国内だけでも1兆円規模の効果を生むと想定している。
※平成25年8月開会中 中小企業振興対策特別委員会より

菊池 スパイバー社が開発した合成クモ糸繊維の原料は何か。また、県内における原料調達をサポートが必要と思うがどうか。
科学技術政策主幹 合成クモ糸繊維を培養する原料となる微生物は、一般的な林産資源のバイオマスと伺っているが、どのような微生物かは企業秘密とのことである。また、この微生物は少量であれば現在国内で調達可能とのことであるが、大量調達となると林産資源の豊富な国に頼らざるを得ないとのことである。ただ、スパイバー社では、将来、微生物間の合成により国内調達ができよう研究開発を進めていくとのことであり、県としても期待しているところである。
※平成25年9月定例会 中小企業振興対策特別委員会より

道路・橋梁などの着実な長寿命化の推進を!

菊池 県は平成19年度に橋梁長寿命化修繕計画を策定し、取組みを進めているが、全国の修繕計画策定の状況や点検・修繕の実施状況はどうか。
道路保全課長 平成25年4月時点の全国の橋梁長寿命化の取組状況については、国土交通省が7月に公表している。15m以上の橋梁を対象とする長寿命化修繕計画の策定状況は、都道府県が98%、市町村が79%、合計で87%となっている。また修繕の実施状況は、都道府県の修繕実施率26%に対して市町村では5%となっており、県内の市町村では3.7%という状況である。

菊池 長寿命化の目的として、限りある財源を効率的に執行することが挙げられている。施設の管理台帳を整備し修繕履歴を記録することにより、将来の修繕コストなど今後の修繕の取組みを考えていく必要があると考えるがどうか。

道路保全課長 橋梁やトンネルについてはそれぞれ施設台帳を整備しており、それに基づいて日常のパトロールや定期的な詳細点検を行っている。長寿命化対策によるコストの縮減について、橋梁の100年間の管理費概算額を比較すると、従来の対症療法型の維持管理では7,900億円であるのに対し、予防保全型管理を取り入れると5,900億円となり、2,000億円の縮減効果があると試算している。トンネルについては、150年間の比較で、長寿命化対策によるコストの縮減額が259億円と見込んでいる。

菊池 馬見ヶ崎橋架替が、着工が予定より1年遅れたのは何故か。
都市計画課長 まず仮橋を架設し、NTT回線を移設する必要があったが、東日本大震災により、NTTが被災地の復旧を優先せざるを得なくなり、回線の移設が遅れたためである。

菊池 馬見ヶ崎橋は親柱が象徴的であったが、新しい橋はどのようなものになるのか。また完成はいつか。
都市計画課長 地元で組織した街づくり委員会で検討し、基本的には再利用する計画である。橋桁の色は、住民アンケートを実施している。親柱のイメージを活かした歩道の色調、高欄などを検討している。また28年度での供用を予定している。
※平成25年9月定例会 建設常任委員会より

外国人観光客受け入れの環境整備を推進すべき!

菊池 外国人観光客の受入態勢について、本県の具体的な取組みはどうか。
観光交流課長 東北観光推進機構や通信事業者と連携し、Wi-Fiの整備を進めるとともに、外国人観光客が一定期間無料でWi-Fiが利用できるカードを配布し、利便性を図っていく。また、あいさつや国毎の習慣の違い等を記載した数か国語のガイドブックを県民やホテル従業員向けに作成していく予定である。
※平成25年9月定例会 中小企業振興対策特別委員会より

高校生等に研究・開発の現場からの学習機会をつくるべき!

菊池 やまがた6次産業化戦略推進ビジョン(仮称)の概要案が示されたが、人材育成はどう取り組んでいくのか。
6次産業推進課長 高校生が地域の食を学ぶ機会づくりや県立農業大学校での人材育成の取組み、各農業技術普及課での加工技術の習得支援、山形大学や農業支援センターなどによるコンソーシアムが取り組んでいる6次産業ビジネス・スクールなどがある。

菊池 高等学校における研究・開発に特化した学習機会の提供について、現状と今後の予定はどうか。
高校教育課長 現在、米沢興譲館高校と鶴岡南高校がスーパー・サイエンス・ハイスクール(SSH)に指定されており、昨日も米沢興譲館高校の生徒達が山形大学工学部の城戸淳二塾発表会において研究成果を英語で発表するなどの取組みを行っている。また、慶應義塾大学先端生命科学研究所には、鶴岡南高校の生徒等15名が研究生として週に1度通い、大学院生と関わりながら研究を進めている。

菊池 学校限定ではなく県内の高校生に研究・開発に特化した学習機会を提供する取組みが必要と思われるがどうか。
高校教育課長 各高校においては、未来人材育成事業などを活用しながら、OBや大学等の研究機関を訪問したり、研究者を招いて話を聞いたりするなど、実際の研究を知る機会を得ている。また、来年の2月には米沢興譲館高校を会場として東北地区SSH発表会が行われることから、県内の多くの高校生に研究の取組みを紹介したいと考えている。
※平成25年12月定例会 中小企業振興対策特別委員会より